

総合計画審議会 第5回市民教育専門委員会

- [日 時] 令和5年11月22日(水) 午前10時～11時50分
[場 所] 市役所6階大会議室
[出席者] 別紙委員名簿のとおり(委員10名中7名出席)
出席委員 伊藤恭子委員、井上夏委員、加藤勝委員、草島陽子委員、
酒井英一委員、佐藤司委員、鈴木淳士委員長
欠席委員 櫻井田絵子委員、照井和委員、成澤和則委員
[傍聴者] なし
[協議題等] 報告・説明(1)第3回鶴岡市総合計画審議会について
特に質問なし

協 議(1)第2次鶴岡市総合計画後期基本計画(案)について
委員からの主な意見は以下のとおり

(委員)

- 成果目標は文章化、成果指標(KPI)は数値化されているが、数値化するときには何か基準はあるのか。
→(事務局)特に統一した基準はないが、国で目標設定しているような場合はそれを踏まえて各担当課で設定している。
- 成果指標の現状値、実績値、成果指標について、どういう数値なのか凡例として解説しておくが良い。
→(事務局)製本の際には、成果指標の凡例を入れたい。
- 72ページ「(4)文化資源の保存・継承・活用」の成果指標の設定理由において、文化財施設が括弧書きされているが、ほとんど鶴岡地域のものなので、地域のバランスを考えた方が良いのではないかと。
→(事務局)担当課と協議したい。
- 今回、成果指標の数値を中心に見たら、感想みたいなものであるが面白いことが分かった。例えば68ページ「(3)文化芸術の振興」で、文化芸術活動の参加者は平成29年度10万7,000人ほどだったが、令和4年度12万人に増えていて、コロナ禍でも文化芸術活動の参加者が増えていることに驚いた。一方、72ページで、文化財施設入館者数が平成29年91万6,000人だったが、令和4年は74万人に、約17万人も減っており、これはもうコロナ禍が要因ではなくて、文化芸術活動が鑑賞型よりも参加型が増える傾向にあるのではないかと読み取った。そのため、このKPI値は少し過大な印象を持っている。

(委員)

- 地域課題や事業の効率を考えると、複合的に考え、事業することで成果をもたらすこともあるので、そういう観点で施策を作り、事業を作ることも大事ではないか。
- 前々回の専門委員会でも道路整備の件で申し上げたが、都市計画道路鶴岡駅外内島線は今から50年以上前に計画され、切添大橋の先の丁字路で止まっている。赤川に近く、田んぼを埋め立てた住

宅も多いので、これまでも冠水している。旧消防駅前分署のあった区間だけでも整備が進めば、その先、道路網が広がり、駅前方面に避難できたり、防災上も交通安全上も冬の通学路のことも解決できるのではないかと思う。もう少し踏み込んだ発想で計画を進めて欲しい。

→（事務局）前々回の委員会で頂戴した意見は、意見対応表としてまとめている（第4回市民教育専門委員会参考資料として配布済み）。総合計画は、大きい施策の方向などを書き込んで、具体的なものは、その下に紐づく個別計画などにおいて書き込んでいくイメージである。頂戴した意見は、建設部に伝える。

○10 ページ「イ 住民自治組織の強化と地域活動の担い手の確保・育成」について、町内会長さんになってくれる人がいないとか、若者の関心がなくて困ったという声が多く聞かれるので、もう少し踏み込んだ施策を考えていただきたい。

→（事務局）担当課と協議したい。

○73 ページ「イ 地域の活力となる競技スポーツの振興」に部活動の地域移行について記載があるが、この項目は、競技スポーツではなく、75 ページ「エ 子どもや地域に関わるスポーツ環境の充実」に入れるべきではないか。関連して、イの主な施策①と、総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団の用語説明も、エに入れてはいかがか。

○73 ページ「イ 地域の活力となる競技スポーツの振興」の施策の方向の4行目、「青少年の活動環境」を「青少年スポーツの活動環境」にしてはいかがか。

○74 ページのスポーツ少年団の用語説明は、スポーツ少年団とはどんな活動をする団体かを記載した方がいいのではないか。

○75 ページ「エ 子どもや地域に関わるスポーツ環境の充実」の施策の方向について、意味を分かりやすくするため、例えば、「多くの子どもたちがスポーツを楽しめるように、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ、そして各競技団体や部活動の地域移行に伴う新しいスポーツクラブもできていることから、連携を図ります」などはいかがか。

→（事務局）今、市のスポーツ振興推進計画も審議会で議論いただいているところ。この総合計画後期基本計画と、策定中の推進計画の整合性をとりながら進めてまいりたい。

○（製本の際は）施策の成果指標や用語説明などは、線で囲むとか、字体を変えるとか、小さくするとか、色をつけるとか、区別して分かりやすくした方が読みやすくなる。

→（事務局）現在の計画書も本文と注釈の部分を分けて記載している。今回もメリハリをつけて製本する。

（委員）

○藤島イルミネーション「Hisu 花」が11月3日に点灯式を行い、来年の1月8日まで点灯中である。電球の数は15万球で県2位だが、過去最大のお客さまが点灯式に会場、ワークショップのメンバーもすごく盛り上がっている。皆さん、ぜひお越しいただきたい。

○前回の委員会で、教育委員会で研修視察の予定があることをお聞きしたが、報告をお願いしたい。

→（事務局）この4月に開校した宮城県白石市にある小中一貫の不登校特例校「白石きぼう学園」を視察した。「できることをやる」をモットーに、それぞれ小学校・中学校の学習指導要領の内容を

履修しながらも、自分のペースに合わせて学んでおり、一人ひとりが本当に良い顔で学習をしていた。人との関わりが苦手なお子さんの中にはいるかもしれないが、横の繋がりがあり、また支援の先生方もある程度の人数を配置して進めており、大変良い学びをしていると感じた。

→（委員）できれば、今いる学校でそのような学習体制があれば一番良いと思うので、今後よろしくお願ひしたい。

○鶴岡市で公立保育園の保育士募集をしていない。知り合いに聞くと、ずっと採用しておらず、職員はほぼ40歳以上。子どもが少ないからかもしれないが、公務員になって地元に残る人がなかなかいなくなってしまう。

（委員）

○全体としては評価できる内容であり、特に意見はない。ただ要望として、これは私の持論でもあるのだが、住民自らの自主自立の意識があるかどうかが大変である。私ども自主防災組織を含めた住民自治組織も頑張るので、行政は、市民へ自主自立を啓発してほしい。

○私の近辺でも子どもの数が非常に少なくなっている。来年の新規入学者が1名ところもあるそうだ。58ページ「(1)次代を担う人づくりの推進」とあるが、将来を担う子どもたちの実態をもっと市民に知らしめることも必要ではないかと思う。

→（事務局）来年度に向けて学級編制等の調査をしている。学校全体の人数が減少している上、委員からお話いただいたような情報も教育委員会に寄せられているところである。どのような形でお示しするのが良いのか、課内で検討したい。

○来春中高一貫校が開校するが、現存の中学・高校の良さもあり、手当等継続いただきたい。

→（事務局）この地に中高一貫校が開校するという意義を踏まえ、新しい学びの形が始まることを捉えながらも、今ある高校の良さも伝えながら進めていく。どのように中学校・高校におろしていくかは、工夫していきたい。

（委員）

○先日、社会教育の研究大会が鶴岡であり、分科会で中高生を中心にしたボランティア団体の事例発表があった。高校生も発表者として参加していたので、生の声を聞くことができたのだが、「人と繋がるのが楽しい」「嬉しい」「地元に残りたい」「地元で就職したい」等々言っていた。子どもころから地域の中で繋がっていて、人から必要とされるとか、役に立つという実感を感じて、鶴岡で活躍していく子どもたちが増えると良いと期待している。

○もう一つの事例発表は、大人が働きかけをして高校生たちを動かして、人づくりをしている内容であった。そのボランティア団体の人が言うには、家庭や職場とは違う第三の居場所であると。学校と地域の協働にもっと力を入れていただいて、地域住民と子どもたちの第三の居場所のような場所が増えていくと良い。

(委員)

○15 ページ「(2) 地域の防災・防犯力の強化」の成果指標の表で、刑法犯罪認知件数の現状値は 449 件、実績は 218 件で減少傾向にあるが、KPI は令和 10 年度に 315 件である。こうすると初めて見る人は、もう少し犯罪が増えてもいいという捉え方をしてしまうのではないか。実際には、変更理由を見ると上方修正していることが分かるが、それでも分かりにくい部分がある。

→(事務局) 刑法犯罪認知件数は、毎年増減がある数値であることに加え、コロナ禍の影響もあり、特に令和 4 年は前年マイナス 30% のような、100 件以上の大幅減少となっている。ご指摘のように、誤解を与えない記載方法を検討したい。

○26 ページ「ウ 廃棄物処理施設の機能保持・拡充」の主な施策③に、岡山一般廃棄物最終処分場跡地の活用とあり、学習施設や市民が勉強できる施設があればいいと思うが、今考えている活用方法はあるか。

→(事務局) 今のところお答えできる状況にはない。

○21 ページ「(5) 移住・定住の促進」の成果指標の移住定住施策による移住件数は、平成 29 年度 39 件に対して、令和 4 年度 76 件と増加傾向にあると思うが、移住者の具体的な理由は何か。移住定住施策は、そういったところを手厚くすれば良いのではないか。

→(事務局) 移住の理由として、令和元年から令和 4 年のデータで一番多いのが、就職等で 53% くらい、帰郷・結婚・同居等が 24% くらい、その他 22% くらい。加えて、約 6 割が関東近辺から、17% くらいが東北管内であり、理由なども分析した上で支援策に繋げてまいりたい。

(委員)

○夏に風力発電の動きがいろいろあったが、ちょうど入院しており、高い病床からの景観に思うこともあった。政策的なものをしっかりと立てて臨んでほしい。

○鶴岡は学校給食発祥の地と言われている。既に議会でも、新学校給食センターの方向性が論じられているが、学校給食そのものは、慎重な対応をお願いしたい。そういう誇りみたいなものにじみ出るような文章にしてほしいと思う。

○去年、家内が免許を返納し、今回、私が入院したため、途端に買い物難民になってしまった。市街地に住んでいても車なしには買い物も難しいことを実感した。免許返納者にハイヤー券をもらったが、我々の年代だと、遊びに行くのに市からもらったハイヤー券を使うのは心苦しいというか後ろめたいという習性が染み付いているので、生活・暮らし向きの利便性に繋がる継続的な支援があるとありがたい。また、庄内交通のバス利用についても、もう少し市民へ周知徹底されていれば、市民生活がしやすくなるのではないかと感じている。

→(事務局) 本市に住民登録のある 70 歳以上の方と、運転免許を自主返納された方を対象に、庄内交通の路線バス定期券が通常料金 10,370 円のところを 2,550 円で乗り放題という制度もあるので、そちらも周知していきたい。

※本日頂戴した意見を踏まえ、事務局で検討し、計画案を修正する。修正内容の確認は委員長に一任いただくことで了承を得、協議終了。